



有効な症状

- ・アトピー性皮膚炎でお困りの方
- ・従来の治療（※）では十分な効果が得られないアトピー性皮膚炎患者さま
※ステロイド外用剤やタクロリムス外用剤などの抗炎症外用剤による治療
- ・12歳以上かつ体重40kg以上のアトピー性皮膚炎の患者さま

治療の説明

イブグリース皮下注 250mg（有効成分：レブリキズマブ）は**既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎の患者様を対象に発売された生物学的製剤**です。剤形はオートインジェクター（自動注射器）とシリンジ（注射器）があります。薬液が自動で注入されるか、手動で注入するかという点が異なります。アトピー性皮膚炎の病態形成に中心的な役割を果たすIL-13に結合し、IL-13受容体複合体を介してシグナル伝達を阻害する生物学的製剤です。

アトピー性皮膚炎は遺伝や環境・免疫学的因子を要因とする複雑な疾患で、アトピー性皮膚炎の発症にはIL-4、IL-5、IL-13が関連していることがわかっています。中でもIL-13は2型炎症を誘導することで、皮膚バリア機能障害、掻痒、皮膚肥厚、易感染性を引き起こすといわれています。アトピー性皮膚炎の様々な徴候を引き起こす複数の病態生理学的因子を誘導することから、IL-13はアトピー性皮膚炎に関与するメディエーター（伝達物質）と考えられています。イブグリースは、IL-13に高親和性で結合するヒト化抗ヒトIL-13モノクローナル抗体ですので、IL-13受容体複合体の形成とその後のシグナル伝達を阻害し、IL-13を介したアトピー性皮膚炎の病態形成を抑制します。

治療の流れ

レブリキズマブ（遺伝子組換え）として初回及び2週後に1回500mg、4週以降、1回250mgを2週間隔で皮下投与します。患者さまの状態に応じて、4週以降、1回250mgを4週間隔で皮下投与することが出来ます。現時点では自己注射ができないため、医療機関での投与となります。冷蔵した薬剤を45分以上かけて常温に戻す必要があります。注射する箇所は、お腹（へその周辺5cm以外）、太もも（大腿部）の前面、二の腕（上腕部の外側）で毎回変更します。皮膚が敏感な部位、傷や打撲がある部位、赤くなっている部位、硬くなっている部位、アトピー性皮膚炎やその他の皮膚病の炎症がある部位には注射できません。

料金（治療の目安 / 税込）

以下は薬剤費のみの価格です。別途、検査費や治療費、その他の薬剤費、ほかの病気のための治療費や薬剤費などがかかります。

薬剤の価格はイブグリース®皮下注250mgオートインジェクター、イブグリース®皮下注250mgシリンジとも1本あたり50,782円です。3割負担の方の自己負担額は、初回・2回目（2本）とも30,469円、3回目以降（1本）15,235円となります。なお3回目以降は状態に応じて2週間隔から4週間隔に変更可能です。

薬剤の価格はイブグリース®皮下注250mgオートインジェクター、イブグリース®皮下注250mgシリンジとも1本あたり50,782円です。

3割負担の方の自己負担額は、初回・2回目（2本）とも30,469円、3回目以降（1本）15,235円となります。なお3回目以降は状態に応じて2週間隔から4週間隔に変更可能です。

投与本数	初回(2本)	2回目(2本)	3回目(1本)
薬剤費	101,564円	101,564円	50,782円
自己負担額 3割	30,469円	30,469円	15,235円
自己負担額 2割	20,313円	20,313円	10,156円
自己負担額 1割	10,156円	10,156円	5,078円

※2026年3月時点 ※自己負担額=窓口で支払う金額

※なお、患者さまの経済的な負担を軽減するため、さまざまな医療費の助成制度があります。患者さまの収入にもよりますが、限られた費用負担で継続が可能になるケースがあります。1年間で支払った医療費の総額により還付金を受け取れる医療費控除や、1ヵ月の間に医療機関の窓口で支払った額が、一定の金額を超えた場合に、金額が払い戻される高額療養費制度を使うことをご検討ください。

注意事項について

下記のサイトもご参照ください。

イブグリースによる治療を始められる患者さんへー日本イーライリリー株式会社ー

<https://jp.lilly.com/ebglyss>